



ユーザーガイド

AWS re:Post Private



AWS re:Post Private: ユーザーガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

.....	iv
AWS re:Post Private とは	1
re:Post Private にアクセスする	1
料金	1
招待を受ける	1
ブラウザ要件	2
AWS re:Post プライベートサポートの終了	3
サービス終了前のサービス更新	3
代替サービス	3
データのオフボード方法	4
前提条件	4
ステップバイステップの手順	5
重要な期限	6
ヘルプの利用	7
よくある質問	7
サインイン	10
プロフィールを完了する	11
プライベート re:Post 内で作業する	12
質問する	12
re:Post Agent から回答を取得する	13
回答を投稿する	14
選択を表示する	14
選択を公開する	15
記事を公開する	16
プライベート re:Post 内で検索する	17
ディスカッションを作成する	18
チャンネルを参照する	19
質問を サポート ケースに変換する	21
サインアウト	23
ドキュメント履歴	24

サポート終了通知: 2027 年 6 月 30 日に、AWS は AWS re:Post Private のサポートを終了します。2027 年 6 月 30 日以降、re:Post Private コンソールまたは re:Post Private リソースにアクセスできなくなります。詳細については、「[AWS re:Post Private end of support](#)」を参照してください。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。

AWS re:Post Private とは

AWS re:Post Private は、エンタープライズサポートプランまたはエンタープライズオンランプサポートプランを持つエンタープライズ AWS re:Post 向けの プライベートバージョンです。クラウドの導入を加速し、デベロッパーの生産性を向上させるための知識とエキスパートへのアクセスを提供します。組織固有のプライベート re:Post を使用すると、組織固有のデベロッパーコミュニティを構築して、大規模な効率を高め、貴重なナレッジリソースにアクセスできます。さらに、re:Post Private は信頼できる AWS 技術コンテンツを一元化し、チームが内部および AWS とコラボレーションして技術的な障害を取り除き、イノベーションを加速し、クラウド内でより効率的にスケールする方法を改善するプライベートディスカッションフォーラムを提供します。

詳細については、[「AWS re:Post Private」](#)を参照してください。

re:Post Private にアクセスする

管理者以外のユーザーは re:Post Private アプリケーションを使用して、管理者が設定した認証情報を使用してサインインします。プライベート re:Post にサインインすると、目的のトピックを対象とするカスタマイズされたトレーニングや技術コンテンツなど、既存のコンテンツを参照または検索できます。また、AWS パブリックテクニカルコンテンツをプライベート re:Post から直接検索し、AWS パブリックコンテンツに関する内部ディスカッション用のプライベートスレッドを作成することもできます。質問したり、回答を提供したり、記事を公開したりすることで、AWS 技術的な問題を共同で解決し、プライベート re:Post の他のユーザーから技術ガイダンスを取得できます。ディスカッションスレッドを サポート ケースに変換することもできます。からのレスポンスをプライベート re:Post に追加 サポート できます。

料金

re:Post Private の料金階層については、[「料金表」](#)を参照してください。

AWS re:Post Private に招待される

組織固有のプライベート re:Post に参加するには、招待されている必要があります。re:Post Private コンソールの管理者は、プライベート re:Post を作成し、自分と他のユーザーをプライベート re:Post に参加するように招待します。コンソール管理者から、ログインしてプライベート re:Post に登録するために必要な情報が記載された E メールが送信されます。

ブラウザ要件

招待のカスタムサブドメインにサインインして、プライベート re:Post アプリケーションを開きます。サポートされている次のウェブブラウザの最新バージョン 3 つのいずれかを使用します。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge
- MacOS 版 Apple Safari

AWS re:Post プライベートサポートの終了

AWS re:Post Private は 2027 年 6 月 30 日にサービスが終了します。この日以降、re:Post Private サービスは利用できなくなり、すべてのプライベート re:Post Private スペースは廃止されます。re:Post Private は、AWS 技術的なコンテンツを一元化し、組織内でプライベートコラボレーションを促進するための貴重なツールであることを理解しており、end-of-service前に代替ソリューションにスムーズに移行できるよう努めています。

このガイドでは、2027 年 6 月 30 日までに予想されること、推奨される代替方法、データをエクスポートするためのstep-by-stepの手順、よくある質問への回答について説明します。

サービス終了前のサービス更新

すぐには、AWS re:Post Private に新機能の更新や機能強化は行われません。このサービスは 2027 年 6 月 30 日まで引き続き運用され、現在の状態でアクセスできるため、移行を完了する時間を確保できます。サービスの整合性を維持するために重要なセキュリティパッチは、この期間中も AWS の裁量で適用される場合があります。

直前の中断を避けるため、すべてのお客様はできるだけ早くオフボーディングとデータ移行プロセスを開始することを強くお勧めします。

代替サービス

組織のニーズに応じて、次の代替方法をお勧めします。

オプション 1: Teams のスタックオーバーフロー (現在はスタック内部)

re:Post Private に最も似た機能セットを求める組織の場合、Teams のスタックオーバーフロー (最近 Stack Internal としてブランド変更) は、包括的なプライベートナレッジ管理とコラボレーションプラットフォームを提供します。主な利点は次のとおりです:

- プライベート Q&A フォーラム — re:Post Private question-and-answerワークフローを使用して、構造化された検索可能なナレッジベースを作成します。
- ナレッジの一元化 — 組織のナレッジを 1 つのアクセス可能な検索可能な場所に統合してサイロを削減
- 統合 — 既存のツールや技術スタック (Slack、Microsoft Teams、Jira など) に接続します。
- コンテンツのキュレーションと検証 — チームがナレッジエコシステムを検証、共有、構築することを奨励するコミュニティツール

- エンタープライズグレードのセキュリティ — エンタープライズ環境の専用サポートと堅牢なセキュリティコントロール
- AI を活用した検索 — チームが検証済みの回答をより迅速に見つけられるようにし、対象分野のエキスパートへの反復的な質問を減らします。

詳細については、<https://stackoverflow.co/internal/> を参照してください。

オプション 2: AWS Builder Center

AWS Builder Center は、他の AWS ビルダーとのコミュニティを作成して参加したい組織向けに、より広範な AWS コミュニティに接続するためのコラボレーションスペースを提供します。主な利点は次のとおりです:

- コミュニティエンゲージメント — 他の AWS ビルダーとつながり、ベストプラクティスを共有し、同僚から学ぶ
- AWS エコシステムの統合 — 最新の AWS リソース、コンテンツ、コミュニティディスカッションに引き続き接続できます。
- パブリックコラボレーション — AWS Builder コミュニティ全体でオープンなナレッジ共有に取り組む

詳細については、<https://builder.aws.com/> を参照してください。

データのオフボード方法

スムーズに移行するには、re:Post Private データを 2027 年 6 月 30 日までにエクスポートする必要があります。データ出力は、AWS Technical Account Manager (TAM) を通じて容易になり、指定した Amazon S3 バケットに配信されます。以下のステップを実行します。

前提条件

- S3 バケットを作成および管理するためのアクセス許可を持つアクティブな AWS アカウント
- 割り当てられた AWS Technical Account Manager (TAM) へのアクセス
- エクスポートされたデータを受信するように設定された Amazon S3 バケット

エクスポートされたデータは、CSV 形式 (Teams のスタックオーバーフローと互換性がある / スタック内部) または JSON オブジェクトのコレクション (他のプラットフォームと互換性がある) の 2 つの形式のいずれかで利用できます。ステップ 2 で TAM に連絡するときは、希望する形式を指定してください。

ステップバイステップの手順

ステップ 1: データの S3 バケットを作成または識別する

1. AWS マネジメントコンソールにサインインし、Amazon S3 サービスに移動します。
2. re:Post Private データを受信するには、新しい S3 バケットを作成します (または既存のバケットを識別します)。バケットが任意の AWS リージョンにあることを確認します。
3. 適切なバケットポリシーとアクセス許可を設定します。少なくとも、バケットがデータ出力プロセスの書き込みアクセスを許可していることを確認します (必要に応じて TAM が特定のプリンシパル ARNs を提供します)。
4. (推奨) バケットでサーバー側の暗号化 (SSE-S3 または SSE-KMS) を有効にして、保管中のデータを保護します。
5. (推奨) バケットのバージョニングを有効にして、誤って上書きされないようにします。

ステップ 2: Technical Account Manager (TAM) に連絡する

1. 割り当てられた TAM に連絡して、データ出力プロセスを開始します。TAM が不明な場合は、AWS アカウントチームに問い合わせるか、サポートケースを開きます (以下の「ヘルプの取得」を参照)。
2. TAM に次の情報を提供します。
 - re:Post プライベートスペース識別子 (複数可) または re:Post プライベートスペースに関連付けられた AWS アカウント ID
 - 送信先 S3 バケット名と ARN (例: `arn:aws:s3:::your-bucket-name`)
 - レプリケート先バケットを所有する AWS アカウント ID
 - データエクスポートの希望タイムライン (2027 年 6 月 30 日までに完了する必要があります)
 - 任意のエクスポート形式: CSV または JSON オブジェクト

ステップ 3: データ転送用のバケットアクセス許可を設定する

1. TAM は、バケットへのデータの書き込みに使用される特定の IAM ロールまたはプリンシパルを提供します。
2. S3 バケットポリシーを更新して、指定されたプリンシパルに `s3:PutObject` および `アクセスs3:PutObjectAcl` 許可を付与します。バケットポリシーステートメントの例:

```
{
  "Sid": "AllowRePostDataEgress",
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "AWS": "<ARN provided by your TAM>"
  }
}
```

```
    },  
    "Action": [  
        "s3:PutObject",  
        "s3:PutObjectAcl"  
    ],  
    "Resource": "arn:aws:s3:::your-bucket-name/*"  
}
```

3. アクセス許可が正しく設定されていることを TAM に確認します。

ステップ 4: データエクスポートを開始して検証する

1. TAM はユーザーに代わってデータ出力を調整し、エクスポートプロセスが開始されたことを確認します。
2. TAM がデータエクスポートリクエストを送信すると、3 営業日以内にデータが配信されます。エクスポートが完了すると、TAM から通知されます。
3. S3 バケットにエクスポートされたデータを確認します。データには、プライベート re:Post の質問、回答、ディスカッション、記事、および関連するメタデータが含まれます。
4. エクスポートされたコンテンツの完全性を確認し、TAM で受信を確認します。

ステップ 5: 選択した代替手段にデータを移行する

1. データが S3 に保存されたら、必要に応じてダウンロードまたはアクセスして、選択した代替プラットフォーム (Teams のスタックオーバーフロー、AWS Builder Center、または別のソリューション) にインポートします。
2. インポート/移行手順については、選択したプラットフォームのドキュメントを参照してください。

重要な期限

マイルストーン	日付
オフボーディングプロセスを開始する (推奨)	できるだけ早く
TAM でデータ出力を開始する最終期限	2027 年 6 月 15 日
TAM がエクスポートリクエストを送信した後の予想されるデータ配信	3 営業日以内に

マイルストーン	日付
サービス終了日 — すべてのデータが完全に削除されました	2027 年 6 月 30 日

Important

2027 年 6 月 30 日までにエクスポートされなかったデータは完全に削除され、復元することはできません。

ヘルプの利用

re:Post Private end-of-service 移行についてさらに質問がある場合は、次のいずれかのチャネルを使用してください。

- AWS アカウントチームに連絡する — 移行計画に関するパーソナライズされたガイダンスについては、テクニカルアカウントマネージャー (TAM) またはアカウントマネージャーに直接お問い合わせください。
- サポートチケットを開く — AWS サポートセンターにサインインし、新しいケースを作成します。必要に応じて「Account and Billing」または「Technical」を選択し、件名の「re:Post Private end of service」を参照してください。

よくある質問

AWS re:Post Private が廃止されるのはなぜですか？

慎重な評価の後、AWS は re:Post Private サービスを終了し、顧客の進化するニーズにより適した他のソリューションに投資することにしました。当社は、影響を受けるすべてのお客様に円滑な移行を行うよう努めています。

re:Post Private が機能しなくなるのはいつですか？

このサービスは 2027 年 6 月 30 日に完全に廃止されます。この日以降は、プライベート re:Post または re:Post 内のデータにアクセスできなくなります。

アクションを実行しない場合、データは失われますか？

はい。2027 年 6 月 30 日より前にエクスポートされなかったデータは完全に削除されます。オフボーディングプロセスをすぐに開始することを強くお勧めします。

エクスポートに含まれるデータ

データエクスポートには、質問、回答、ディスカッション、記事、ナレッジ記事、関連するメタデータ (タグ、タイムスタンプ、作成者情報など) など、プライベート re:Post のすべてのコンテンツが含まれます。

エクスポートしたデータはどの形式になりますか？

エクスポートされたデータは、CSV 形式または他のプラットフォームとの互換性のための JSON オブジェクトのコレクションのいずれかの形式で利用できます。ステップ 2 で TAM に連絡するときは、希望する形式を指定してください。

データエクスポートにはコストがかかりますか？

データ出力プロセス自体には料金はかかりません。ただし、送信先バケットに保存されているデータには、標準の Amazon S3 ストレージ料金が適用されます。詳細については、「Amazon S3 の料金」を参照してください。

TAM が誰であるかわかりません。調べるにはどうすればよいですか？

AWS アカウントチームに連絡するか、AWS サポートセンターからサポートケースを開くことができます。Enterprise Support または Enterprise On-Ramp Support プランをお持ちの場合は、アカウントに TAM が割り当てられます。

2027 年 6 月 30 日以降も re:Post Private を読み取り専用モードで引き続き使用できますか？

いいえ。このサービスは 2027 年 6 月 30 日に完全に廃止されます。読み取り専用アクセスを含むアクセスは、それ以降は利用できません。

Teams のスタックオーバーフローと re:Post Private の比較

Stack Overflow for Teams (Stack Internal) には、プライベート Q&A フォーラム、ナレッジベース記事、タグ付け、検索、チームコラボレーションツールなど、re:Post Private と同様の機能セットが用意されています。また、ナレッジ検出用のサードパーティーツールや AI を活用した機能との追加統合も提供します。

AWS Builder Center は re:Post Private を直接置き換えるものですか？

AWS Builder Center は直接 1 対 1 の置き換えではありません。これは、完全にプライベートな内部ナレッジベースを維持するのではなく、パブリックまたは半パブリックな環境でより広範

な AWS ビルダーコミュニティとやり取りしたい組織に最適です。プライベートナレッジ管理ソリューションの場合、Teams の スタックオーバーフローはより近い選択肢です。

AWS は、コンテンツを Teams の スタックオーバーフローに移行するのに役立ちますか？

AWS はデータを S3 バケットにエクスポートします。そこから、インポートプロセスで Teams のスタックオーバーフローを使用する必要があります。Teams の Stack Overflow ドキュメントを参照するか、販売チームに連絡して移行の支援を受けてください。

2027 年 6 月 30 日以降にさらに時間が必要な場合はどうなりますか？

2027 年 6 月 30 end-of-serviceが最終日です。すべてのお客様は、できるだけ早く移行を開始することをお勧めします。この期限を過ぎても問題が発生することが予想される場合は、すぐに AWS アカウントチームに連絡して状況を確認してください。

他の AWS のサービスには影響しますか？

いいえ。re:Post Private の終了は、アカウント内の他の AWS サービスには影響しません。re:Post Private サービスのみが廃止されます。

プライベート re:Post にサインインする

プライベート re:Post に初めてサインインするには、re:Post Private コンソール管理者からの E メールを開きます。次に、E メールに記載されているリンクを選択して、プライベート re:Post にサインインします。re:Post Private にサインインするには、AWS IAM アイデンティティセンター または AWS Active Directory 認証情報を使用する必要があります。

ブラウザがシングルサインオンをサポートできるように、追加の手順が必要になる場合があります。詳細については、「AWS Directory Service 管理ガイド」の「[IE および Chrome のシングルサインオン](#)」と「[Firefox のシングルサインオン](#)」をご参照ください。

プロフィールを完了する

プライベート re:Post に初めてサインインするときは、プロフィールを完了する必要があります。

プロフィールを完了するには、次の手順に従います。

1. 画面名 に、表示名を入力します。この名前はすべての投稿に表示されます。
2. 通知用の E メールには、E メールアドレスを入力します。
3. (オプション) 名と姓に、名と姓を入力します。
4. インターフェイス言語と通知言語 で、言語を選択します。
5. コンテンツ言語 で、re:Post Private のコンテンツに追加の言語オプションを選択します。
6. プロファイルの完了 を選択します。

プロフィールを完了すると、検証 E メールが送信されます。この E メールでは、Eメールの検証を選択します。

プライベート re:Post で、サービス続行を選択してプライベート re:Post の使用を開始します。

Note

プロフィールを更新するには、ユーザープロフィールを選択し、設定、必要に応じて更新、プロフィールの更新を選択します。

プライベート re:Post 内で作業する

このセクションのトピックでは、プライベート re:Post を使用して既存のコンテンツを参照し、質問し、回答を投稿し、記事と選択を公開する方法について説明します。

トピック

- [プライベート re:Post で質問する](#)
- [re:Post Agent から質問に対する回答を取得する](#)
- [プライベート re:Post の質問に回答を投稿する](#)
- [プライベート re:Post で選択内容を表示する](#)
- [プライベート re:Post で選択を公開する](#)
- [プライベート re:Post で記事を発行する](#)
- [プライベート re:Post 内で検索する](#)
- [チャンネル内のコンテンツを参照する](#)

プライベート re:Post で質問する

探している情報がプライベート re:Post で見つからない場合は、質問できます。

プライベート re:Post で質問するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、Post content を選択します。次に、質問を選択します。

-または-

プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、質問するを選択します。

2. 質問のガイドラインを確認し、質問するを選択します。

Note

初めて質問を投稿する場合にのみ、ガイドラインを確認するように求められます。

3. 質問タイトルには、タイトルを入力します。
4. 質問の説明には、説明を入力します。できるだけ多くの情報を提供します。

5. チャンネル で、質問を投稿するチャンネルを選択します。特定のチャンネルを選択しない場合は、デフォルト を選択します。

このオプションは、プライベート re:Post 内のどのチャンネルにもユーザーがいない場合は表示されません。

6. 組織固有のタグで、質問に適用するカスタムタグを選択します。

7. AWS タグ では、質問に適用されるタグを最大 5 つ選択します。

8. 質問の投稿を選択します。

プライベート re:Post の類似コンテンツのリストが表示され、問題の解決に役立ちます。このコンテンツのいずれかを表示するように選択できます。それでも質問を投稿する場合は、質問の投稿を選択します。

質問タブの下に質問が表示されます。

プライベート re:Post のユーザーは質問に答えることができます。質問に対するすべての回答が質問の下に表示されます。回答を受け入れるには、回答を受け入れるを選択します。

re:Post Agent から質問に対する回答を取得する

プライベート re:Post の他のユーザーが質問に回答するのを待つと、re:Post エージェントは質問を確認し、回答を提供します。re:Post エージェントは AI を活用したペルソナであり、数秒以内に質問に対する最初の回答を提供します。

Note

AWS 生成 AI 機能によって回答が生成されます。ただし、特定のコンテキストでレコメンデーションを評価し、適切な監視と保護を実装する責任があります。詳細については、[「AWS 責任 AI ポリシー」](#)を参照してください。

Note

re:Post Agent は、次の条件下では回答を生成しない場合があります。

- お客様の質問は、セキュリティまたはコンプライアンスに関連しています。
- 質問がコミュニティガイドラインに準拠していません。

- re:Post エージェントには、質問に回答するための十分な情報がありません。

re:Post Agent が提供した回答が正確であれば、回答を受け入れるを選択できます。

re:Post Agent が生成した回答が質問の下に表示されます。

以下は、質問に対する re:Post エージェントレスポンスの例です。

Important

re:Post Agent は、アジアパシフィック (シンガポール) および欧州 (アイルランド) リージョンではまだ利用できません。

プライベート re:Post の質問に回答を投稿する

AWS re:Post Private のプライベート re:Post に投稿された質問に回答できます。

プライベート re:Post の質問に回答を投稿するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションのホームページで、質問を選択します。
2. 質問のリストから、回答を投稿する質問を選択します。
3. 「回答を追加する」に回答を入力します。
4. Post answer を選択します。

追加した回答が質問の下に表示されるようになりました。

プライベート re:Post で選択内容を表示する

選択は、ユースケース、テクノロジードメイン、業界、または特定の問題領域に関連する学習パスまたは厳選されたコンテンツアセットのセットです。これは、AWS のサービス内の組織のクラウドユースケースに固有のナレッジアセットのコレクションであり、AWS re:Post、ナレッジセンター、AWS ブログ、AWS ドキュメントなどの AWS ソースからの高品質のコンテンツが含まれています。

プライベート re:Post で公開されているすべての選択を表示できます AWS。

プライベート re:Post で選択を表示するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、選択タブを選択します。
2. 選択のリストから、表示する選択を選択します。

プライベート re:Post で選択を公開する

プライベート re:Post で選択を公開するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、Post content を選択します。次に、選択の作成を選択します。

-または-

プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、選択の作成を選択します。

2. 下書きの作成ページで、選択タイトルにタイトルを入力します。
3. 選択の説明には、説明を入力します。
4. 短い説明には、メタタイトルを入力します。

このフィールドには、検索エンジンの最適化を改善するための選択を簡単に説明する単語をいくつか含めます。

5. Channel で、選択を公開するチャンネルを選択します。特定のチャンネルを選択しない場合は、デフォルトを選択します。

このオプションは、プライベート re:Post 内のどのチャンネルにもユーザーがいない場合は表示されません。

6. 組織固有のタグで、選択に適用するカスタムタグを選択します。
7. AWS タグ では、選択に適用されるタグを最大 5 つ選択します。
8. タイトルイメージでは、選択内容を説明するカバーイメージをアップロードします。タイトルイメージの最大サイズ 2 MiB。サポートされているファイルタイプは、jpg、.peg、.png です。
9. コンテンツセクションのタイトルに、最初のセクションのタイトルを入力します。
- 10 説明 に、セクションの説明を入力します。
- 11 選択に追加するリソースごとに、リンクの追加を選択します。
- 12 追加するリンクごとに次の手順を実行します。

リンクを追加するには、リソースのリンクを入力します。タイトルフィールドは自動的に入力されます。

(オプション) 説明には、簡単な説明を入力します。

(オプション) イメージを追加する で、リソースを記述するカバーイメージをアップロードします。カバーイメージの最大サイズは 2 MiB です。サポートされているファイルタイプは、.jpg、.peg、.png です。

13(オプション) 本文を追加 を選択して、セクションのテキストイメージとインラインイメージを含めます。

14別のセクションを追加するには、「別のセクションを追加する」を選択します。ステップ 7~11 を繰り返します。

15.ドラフトの作成 を選択します。

16選択の下書きを編集するには、編集を選択します。

17[公開] を選択します。

選択は、選択タブの下に発行されます。

プライベート re:Post で記事を発行する

プライベート re:Post に記事を公開するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、Post content を選択します。次に、記事の発行を選択します。

-または-

プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、記事の発行を選択します。

2. 記事のタイトルには、タイトルを入力します。

3. コンテキストと目的には、簡単な説明を入力します。

4. 記事本文には、コンテンツを入力します。

5. Channel で、記事を公開するチャンネルを選択します。特定のチャンネルを選択しない場合は、デフォルト を選択します。

このオプションは、プライベート re:Post 内のどのチャンネルにもユーザーがない場合は表示されません。

6. 組織固有のタグで、記事に適用するカスタムタグを選択します。
7. AWS タグ では、記事に適用されるすべてのタグを選択します。
8. コンテンツレベルで、記事に適用されるコンテンツレベルを選択します。
9. 記事の発行を選択します。

公開した記事が記事タブの下に表示されるようになりました。プライベート re:Post のユーザーは、記事を表示、賛成、反対することができます。また、この記事のコメントセクションに表示されるコメントを記事に追加することもできます。

プライベート re:Post 内で検索する

インテリジェント検索は、AWS re:Post コミュニティ、AWS ドキュメント、AWS ナレッジセンターの記事全体で関連する回答をすばやく見つけるのに役立つ自然言語検索機能です。この AI を活用したツールは、管理者によって有効になっている場合、re:Post プライベートスペースで使用できます。

クエリに最も関連性の高い結果を見つけるために、Intelligent Search は機械学習を使用して、コミュニティ Q & A、AWS 公式ガイダンス、組織によってキュレートされた内部記事など、複数のソースにわたる回答を検索します。インテリジェント検索では、AI が生成したトピックの簡単な概要と、各ソースへの参照も提供されます。

インテリジェント検索を使用するには、次の手順を実行します。

1. re:Post Private インスタンスを開きます。
2. ページの上部にある検索バーを選択します。
3. 質問は自然言語で入力します。たとえば、「How do I set up IAM Identity Center with Azure AD?」と入力します。
4. Enter キーを押すか、検索アイコンを選択します。
5. Intelligent Search は、関連するレスポンスをランク付けし、コンテンツタイプとソース (AWS、内部、またはコミュニティ) を示し、結果の重要なポイントを要約します。

Note

インテリジェント検索が表示されない場合、管理者が AI 機能を有効にしていない可能性があります。セットアップガイダンスについては、[「re:Post Private の AI 統合の設定」](#)を参照してください。

クエリが標準のキーワードベースの結果のみを返すようにインテリジェント検索をオフにするには、次の手順を実行します。

1. re:Post Private インスタンスを開きます。
2. re:Post Private インスタンスの右上隅にあるプロフィールアイコンを選択し、設定を選択します。
3. AI 設定セクションまでスクロールします。
4. オフ 検索結果で AI 生成レスポンスを有効にします。

インテリジェント検索を再度有効にするには、設定に戻ります。 と をオンにして、検索結果で AI 生成レスポンスを有効にします。

プライベート re:Post でディスカッションを作成する

プライベート re:Post 内の AWS re:Post から任意の検索結果についてプライベートディスカッションを開始できます。質問、ナレッジセンターの記事、または AWS re:Post コンテンツタブの検索結果からの記事に関する説明を開始できます。

re AWS :Post から検索結果に関するプライベートディスカッションを開始するには、次の手順に従います。

1. 検索結果ビューで、AWS re:Post 結果タブを選択します。
2. ディスカッションを作成する検索結果を選択します。
3. プライベート re:Post でディスカッションを開始するを選択します。
4. 質問する ページで、次の情報を入力します。

質問タイトルには、ディスカッションのタイトルを入力します。

質問の説明には、コンテンツへのリンクが既に含まれています。必要に応じて詳細情報を入力できます。

タグ では、説明に適用されるタグを最大 5 つ選択します。

 Note

組織がカスタムタグを許可している場合は、カスタムタグについて、ディスカッションに適用される組織のカスタムタグを選択します。

5. 質問の投稿を選択します。

ディスカッションは、質問タブのプライベート re:Post に追加されます。

チャンネル内のコンテンツを参照する

コンソール管理者は、ターゲットを絞ったコンテンツ共有、組織の改善、プライバシーの強化、アクセス許可管理の簡素化のために、プライベート re:Post 内にチャンネルを作成することができます。チャンネルは、プライベート re:Post 内できめ細かなコンテンツアクセスコントロールを提供します。

 Note

次のいずれかの条件が当てはまる場合、プライベート re:Post 内でチャンネルを使用することはできません。

- プライベート re:Post にはチャンネルがありません。
- プライベート re:Post 内のどのチャンネルのユーザーでもありません。

プライベート re:Post のチャンネルを調べるには、次の手順に従います。

1. 追加したチャンネルを表示するには、プライベート re:Post アプリケーションのホームページですべてのチャンネルを選択します。
2. チャンネルを使用せずにプライベート re:Post に投稿されたコンテンツを表示するには、デフォルトを選択します。
3. チャンネルから排他的に投稿されたコンテンツを表示するには、リストからチャンネル名を選択します。

ユーザーである任意のチャンネルでコンテンツを投稿および表示できます。質問の投稿、記事の公開、チャンネルでの選択の作成を行うには、コンテンツを投稿するときに必ずチャンネル名を選択してください。

 Note

チャンネルのユーザーのみが、チャンネルに投稿したコンテンツを表示できます。

質問を サポート ケースに変換する

サポートリクエストの場合は、プライベート re:Post に投稿した質問 サポート から ケースを作成できます。

Note

re:Post Private 管理者に連絡して、サポートリクエストのアクセス許可を取得します。

Note

サポート ケースに変換した後で質問を編集することはできません。

質問からケースを作成できるのは、これらの条件の両方が当てはまる場合のみです。

- 少なくとも 12 時間前に質問を投稿しました。
- 質問に受け入れられた回答がありません。

プライベート re:Post の質問からサポートケースを作成するには、次の手順に従います。

1. プライベート re:Post アプリケーションの任意のページから、質問タブを選択します。
2. サポートケースを作成する質問を選択します。
3. サポートケースの作成を選択します。
4. 警告メッセージを確認します。次に、次のいずれかのアクションを実行します。

ケースの作成を続行しない場合は、キャンセルを選択します。

ケースの作成を続行する場合は、確認を選択して残りのステップを完了します。

5. タイトル、概要、コメントと回答、タグとトピックの各フィールドには、質問からの情報が入力されます。これらのフィールドを編集したり、機密情報や個人情報を削除したりできます。
6. サポートケースの作成を選択します。

からのレスポンス サポート は、サポートケースタブの質問の下に表示されます。

7. からのレスポンスを受け取ったら サポート、AWS サポートへの返信セクションに返信を入力します。次に、AWS サポートへの返信の送信を選択します。

 Note

からのレスポンス サポート と返信は、ユーザーのみに表示されます。

8. 問題が解決された後にスレッドを閉じるには、スレッドの解決を選択します。
9. サポートチケットのコレスポンス発行に関する「Publish support response message」を確認してください。次に、発行せずに解決するか、解決して発行を選択します。

解決して公開することを選択した場合、ケースは解決され、サポートコレスポンスはスレッドに公開されます。

公開せずに解決することを選択した場合、ケースは解決され、サポートコレスポンスは公開されません。ただし、サポートコレスポンスを後で発行を選択して、スレッドでケースコミュニケーションを発行できます。

10. ケースを サポート 解決し、サポートチケットのコレスポンスを発行する場合は、サポートケースタブでサポートコレスポンスを発行を選択します。

AWS re:Post Private からサインアウトする

プライベート re:Post からいつでもサインアウトできます。サインインし直すには、IAM アイデンティティセンターの認証情報を使用します。

次のいずれかの方法で、プライベート re:Post からサインアウトできます。

- プライベート re:Post ウェブアプリケーションで、プロフィールを選択し、サインアウトを選択します。その後、プライベート re:Post からサインアウトします。
- IAM Identity Center コンソールからサインアウトします。サインアウトすると、re:Post Private セッションは、IAM Identity Center セッションの有効期限が切れてから最大 2 時間継続することがあります。この間も、プライベート re:Post アプリケーションにサインインします。セッションがタイムアウトすると、プライベート re:Post から自動的にサインアウトされます。詳細については、AWS IAM Identity Center ユーザーガイドの [「認証」](#) を参照してください。

re:Post Private ユーザーガイドのドキュメント履歴

次の表に、AWS re:Post Private のドキュメントリリースを示します。

変更	説明	日付
サポート終了通知	サポート終了通知: 2027 年 6 月 30 日に、AWS は AWS re:Post Private のサポートを終了します。2027 年 6 月 30 日以降、re:Post Private コンソールまたは re:Post Private リソースにアクセスできなくなります。詳細については、 「AWS re:Post Private end of support」 を参照してください。	2026 年 6 月 30 日
更新	既存のチャネルを参照し、チャネル内でコンテンツを発行する手順を追加しました。	2025 年 7 月 3 日
更新	クエリでのインテリジェント検索の有効化と使用に関する情報を追加しました。	2025 年 6 月 24 日
更新	ユーザーが投稿する質問について re:Post Agent から回答を取得する情報を追加しました	2024 年 10 月 22 日
ガイド構造の点検と改善	ガイドの構造がレビューされ、特定のシナリオの情報をを見つけることに関連するカスタマーエクスペリエンスを向上させるための改善が行われました。	2024 年 9 月 24 日

[初回リリース](#)

re:Post プライベートユーザー 2023 年 11 月 26 日
ガイドの初回リリース